

「水産生物研究における補助器具とその活用事例の紹介」、農学研究院の石井一暢准教授による「道内におけるICT農業とドローンの活用について」、農学研究院の加藤知助教による「太陽光誘起クロロフィル蛍光による野外光合成量推定」、獣医学研究院の好井健太郎准教授による「北海道におけるダニによる感染症とそのリスク

について」が行われました。

実習として、公益財団法人札幌市防災協会の講師3名による「普通応急手当講習Ⅱ」が行われ、受講者全員に講習修了証が交付されました。

今年度は、12名の講師の皆様にご協力いただき、最新の研究等の情報を得ることができました。さらに、技術発表等により、各施設での技術職員の業

務内容についての相互理解や技術交流・親睦が深められました。開催にあたり、ご指導・ご協力をいただいた先生方、岩見沢市、気象庁札幌管区气象台、公益財団法人札幌市防災協会の皆様、ご支援をいただいた事務担当者の方々に深くお礼申し上げます。

(北方生物圏フィールド科学センター)

先端生命科学研究院でFDSD研修会「総会2017」を開催

先端生命科学研究院では2月13日(火)に理学部7号館310室にて平成29年度FDSD研修会「総会2017」を開催しました。今年度も教育・研究担当の全教員及び研究室の事務・技術職員を対象とし、同研究院の諸研究・教育活動報告とともに、理学・生命科学事務部の業務報告も実施しました。出席者は、教職員47名、事務部30名、他3名の計80名でした。

プログラムは3部構成で、1. 講演「数理・データサイエンス教育プログラムの概要」、2. 研究院の活動報告、3. 教えて！理学・生命科学事務部の活動で行われました。プログラム1では、数理・データサイエンス教育研究センター長の長谷山美紀教授より、同センターの設立の経緯と共に、学部教育で提供されるデータ指向の教育プログラム(1年次：一般教育、2～3年次：専門教育、4年次：実践教育)の計画やニーズ調査の結果などについてライフサイエンス系の事例も交えながら概要説明がありました。会

場からは、実際の卒業研究での利用方法など活発な意見交換もありました。

プログラム2では、出村 誠研究院長から、急速な社会変革・持続可能な開発目標(SDGs)への人材育成やデータの資源としての発想転換が大学教育にも求められていることが指摘されました。本学が取り組む第3期中期目標・中期計画の概説とともに、先端生命科学研究院の今年度の研究推進(GI-CoREソフトマターグローバルステーション、産業創出部門、先端基盤研究共用促進事業)、教育改革(ICT活用、新渡戸ポートフォリオの部局導入、ソフトマター専攻設置(平成30年4月))、研究・教育環境(スマホ版学修支援ポータルサイト(MTSinfo)開発、ハラスメント自己点検)、リスクマネジメント、及び門出健次副研究院長から、サステイナブル(北キャンパス総合研究棟2号館のLED照明、換気窓設備による節電対策)など取り組みの概要説明がありました。

プログラム3では、理学・生命科学

事務部の各担当業務への事前質問を整理し、教職員の疑問に直接回答する形式で進行了ました。担当事務からの説明に加え、研究院長による補足説明も行われました。

研修会終了後には先端生命科学研究院と理学・生命科学事務部の意見交換会も行われ、今後の大学教育・研究環境の改善に教員と事務職員との協働意識を更に深めることができました。

◆開催概要ホームページ新着情報

<https://life.sci.hokudai.ac.jp/fa/>

(生命科学院・先端生命科学研究院)



会場の様子



プログラム1 長谷山センター長



プログラム2 出村研究院長、門出副研究院長



プログラム3 理学・生命科学事務部(営繕担当、会計担当、図書担当)